

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月3日

上場会社名 フルサト工業株式会社
 コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤井 武嗣
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6946-9605

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	66,483	16.2	2,227	28.6	2,491	26.6	1,492	32.0
2020年3月期第3四半期	79,292	2.1	3,120	5.1	3,394	3.8	2,196	1.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,007百万円 (12.7%) 2020年3月期第3四半期 2,299百万円 (47.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	102.96	
2020年3月期第3四半期	151.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	63,312	43,460	68.3	2,981.22
2020年3月期	66,888	42,302	63.0	2,908.60

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,215百万円 2020年3月期 42,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		53.50	58.50
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				31.50	36.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,900	12.2	2,500	37.1	2,870	33.8	1,750	37.7	120.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	14,574,366 株	2020年3月期	14,574,366 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	78,465 株	2020年3月期	78,120 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	14,496,049 株	2020年3月期3Q	14,496,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、引き続き厳しい状況にあります。この先、ワクチン接種などへの期待も高まりますが、国内外経済の下振れリスク等、不透明感の残る状況となっています。

セグメントごとの事業環境及び事業の概況は次のとおりです。

(機器・工具セグメント)

事業環境につきまして、鉱工業生産指数は(4-6月)前年同期比20.4%減、(7-9月)同12.6%減、(10-12月)同3.7%減、自動車工業生産指数は(4-6月)同50.0%減、(7-9月)同16.4%減、(10-12月)同0.7%増となり、先行指標となる新設住宅着工戸数は(1-3月)同9.9%減、(4-6月)同12.4%減、(7-9月)同10.1%減となりました。

各事業の概況は次のとおりです。

【工業機器事業(同14.0%減)】

経済活動の回復に合わせ自動車や半導体の生産が上向き基調となったことにより、10-12月期は減少幅が縮小傾向となりました。この先、年度末に向けた販売促進を加速していきますが、コロナ禍の影響をどこまで受けるか不透明な状況です。新事業モーションコントロール(MC)は順調に収益計上を続けており、さらに今後の展開に向けた基盤整備に取り組みました。

【自動車向け機械工具事業(同29.1%減)】

トヨタを中心として国内生産は回復傾向にありますが、海外では地域ごとに回復度合いの差が見られます。主要販売先の部品メーカーもその影響により特にグローバルでは回復途上となっています。当事業も4-9月に底を脱し10-12月は減少幅が縮小しましたが、未だマイナス幅は大きく、完全回復には暫く時間がかかると思われます。

【住宅設備機器事業(同6.9%減)】

上期に停滞していた案件が経済活動の回復と共に動き出したことにより、10-12月期は前年同期比で増加に転じました。施工付案件の受注拡大等により引き続き収益確保に取り組みます。

【セキュリティ事業(同76.2%増)】

設備投資の低迷により機器販売は前年同期比マイナスとなりましたが、プロジェクトでは複数の大口案件により大幅プラスとなりました。サーマルカメラは一部値崩れがあるものの、新製品の投入により堅調に推移しました。利用用途の拡大等を背景に引き続き需要は継続するものと思われます。

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
機器・工具セグメント	33,207百万円	10.4%減	1,175百万円	38.7%増

セグメント売上高は4-9月の前年同期比13.8%減より、10-12月は3.5%減となったことから減少幅が縮小しました。営業利益は収益性の高いセキュリティ事業の売上増、ボリュームの大きい工業機器事業の利益率改善等により、4-9月の17.2%増から10-12月は96.0%増と増加幅が拡大しました。

(機械・設備セグメント)

事業環境につきまして、日本工作機械工業会の工作機械内需受注統計は(4-6月)前年同期比49.4%減、(7-9月)同37.4%減、(10-12月)同14.0%減と回復傾向にありました。

各事業の概況は次のとおりです。

【工作機械事業(同39.2%減)】

受注額は4-9月の25%減から10-12月は0.4%減と回復基調となり、売上高の対前年減少幅も縮小傾向にあります。12月末時点の受注残は同17%減となりました。

【FAシステム事業(同30.4%増)】

大型案件により増収を確保しましたが、受注は前年の特需の影響もあり同43%減と芳しくなく、12月末時点の受注残は同71%減となりました。

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
機械・設備セグメント	10,605百万円	32.0%減	210百万円	54.9%減

セグメント売上高は4-9月の前年同期比34.9%減より、10-12月は26.0%減と若干減少幅の縮小がみられました。営業利益は販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、4-9月の56.1%減から10-12月は50.7%減と減少幅の縮小は僅かでした。

(建築・配管資材セグメント)

事業環境につきまして、先行指標となる鉄骨造着工床面積は(1-3月)前年同期比14.9%減、(4-6月)同9.9%減、(7-9月)同21.1%減となり、悪化の傾向がみられました。

各事業の概況は次のとおりです。

【建築資材事業(同17.4%減)】

引き続き需要の減少の影響を受けましたが、10-12月期の減少幅は縮小しました。自社製品は需要減少により販売量、販売単価とも前年同期比減となりましたが、販売量の減少幅が縮小しました。仕入商品はハイテンボルトにおいて前年特殊要因の影響が薄まり、販売量の減少幅が縮小傾向となりました。

【配管資材事業(同4.3%減)】

大型案件の受注はありましたが、全体的な需要減少の影響で小口取引の販売件数、販売単価の落ち込みが影響し、10-12月の減少幅は少し拡大しました。

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
建築・配管資材セグメント	22,670百万円	14.8%減	743百万円	56.8%減

セグメント売上高は4-9月の前年同期比15.6%減より、10-12月は13.3%減と減少幅は若干縮小しました。営業利益は販売費及び一般管理費の削減等により、4-9月の62.2%減から10-12月は45.4%減と減少幅が縮小しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は664億8千3百万円(前年同期比16.2%減(第2四半期連結累計期間は同18.6%減))、売上総利益は率の向上により同8.7%減となり、販売費及び一般管理費は運賃荷造費の削減、貸倒引当金戻入の増額等がありました。営業利益は22億2千7百万円(同28.6%減(第2四半期連結累計期間は同36.9%減))、経常利益は24億9千1百万円(同26.6%減(第2四半期連結累計期間は同34.3%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億9千2百万円(同32.0%減(第2四半期連結累計期間は同39.9%減))となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億7千6百万円減少し、633億1千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少11億5千9百万円、受取手形及び売掛金の減少38億6千9百万円、電子記録債権の増加4億9千3百万円、商品及び製品の減少5億9千7百万円等により流動資産が44億7千5百万円減少したこと、有形固定資産の増加8億5千2百万円、無形固定資産の減少2億7千9百万円、投資その他の資産の増加3億2千6百万円により固定資産が8億9千8百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ47億3千4百万円減少し、198億5千2百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少30億1千9百万円、未払法人税等の減少4億5千2百万円、賞与引当金の減少3億5千4百万円等により流動負債が51億6千8百万円減少したこと、繰延税金負債の増加等により固定負債が4億3千3百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千8百万円増加し、434億6千万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当による減少8億4千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加14億9千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億1千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年8月21日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました2021年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,883,804	11,723,825
受取手形及び売掛金	22,024,449	18,154,660
電子記録債権	3,771,629	4,265,324
有価証券	—	301,627
商品及び製品	4,952,449	4,354,694
仕掛品	468,470	365,235
原材料及び貯蔵品	155,165	123,269
その他	864,252	1,310,426
貸倒引当金	△50,303	△4,340
流動資産合計	45,069,918	40,594,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,976,792	5,369,238
機械装置及び運搬具(純額)	758,911	769,840
土地	7,487,330	8,928,859
建設仮勘定	1,010,686	494
その他(純額)	272,865	290,228
有形固定資産合計	14,506,586	15,358,661
無形固定資産		
のれん	1,171,097	1,048,651
営業権	1,560,000	1,440,000
その他	255,305	218,048
無形固定資産合計	2,986,402	2,706,699
投資その他の資産		
投資有価証券	2,515,991	2,828,130
退職給付に係る資産	678,911	709,499
繰延税金資産	61,804	61,504
その他	1,292,203	1,134,877
貸倒引当金	△222,860	△81,708
投資その他の資産合計	4,326,051	4,652,303
固定資産合計	21,819,040	22,717,664
資産合計	66,888,958	63,312,388

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,575,244	10,555,280
電子記録債務	6,179,966	6,113,473
1年内返済予定の長期借入金	25,000	—
未払法人税等	707,467	254,640
賞与引当金	730,495	376,438
役員賞与引当金	14,875	13,342
その他	2,817,789	1,569,094
流動負債合計	24,050,837	18,882,271
固定負債		
繰延税金負債	245,815	676,100
役員株式給付引当金	10,196	10,196
退職給付に係る負債	72,932	78,216
その他	206,841	205,255
固定負債合計	535,786	969,768
負債合計	24,586,624	19,852,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,997,217	5,997,217
利益剰余金	30,221,251	30,864,435
自己株式	△85,062	△85,535
株主資本合計	41,365,820	42,008,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	800,902	1,218,167
繰延ヘッジ損益	△11	—
退職給付に係る調整累計額	△2,864	△11,178
その他の包括利益累計額合計	798,026	1,206,988
非支配株主持分	138,487	244,829
純資産合計	42,302,334	43,460,349
負債純資産合計	66,888,958	63,312,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	79,292,226	66,483,755
売上原価	67,312,891	55,541,060
売上総利益	11,979,334	10,942,695
販売費及び一般管理費	8,858,659	8,715,527
営業利益	3,120,675	2,227,167
営業外収益		
受取利息	3,864	3,852
受取配当金	67,307	54,128
仕入割引	397,884	323,213
受取賃貸料	49,789	45,508
その他	22,219	49,194
営業外収益合計	541,066	475,897
営業外費用		
支払利息	2,741	7
売上割引	221,455	188,148
賃貸収入原価	3,178	2,683
その他	40,328	20,421
営業外費用合計	267,704	211,261
経常利益	3,394,037	2,491,803
特別損失		
たな卸資産廃棄損	19,505	—
特別損失合計	19,505	—
税金等調整前四半期純利益	3,374,532	2,491,803
法人税、住民税及び事業税	963,154	650,863
法人税等調整額	196,979	242,027
法人税等合計	1,160,134	892,891
四半期純利益	2,214,398	1,598,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,062	106,342
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,196,335	1,492,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,214,398	1,598,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,924	417,265
繰延ヘッジ損益	—	11
退職給付に係る調整額	△19,813	△8,314
その他の包括利益合計	85,111	408,962
四半期包括利益	2,299,509	2,007,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,281,447	1,901,532
非支配株主に係る四半期包括利益	18,062	106,342

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,073,918	15,604,848	26,613,460	79,292,226	—	79,292,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	936,754	158,817	7,201	1,102,774	△1,102,774	—
計	38,010,672	15,763,665	26,620,662	80,395,000	△1,102,774	79,292,226
セグメント利益	848,025	466,762	1,722,180	3,036,968	83,706	3,120,675

(注)① セグメント利益の調整額83,706千円には、セグメント間取引消去86,336千円、たな卸資産の調整額△4,415千円、固定資産の調整額1,785千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,207,742	10,605,600	22,670,412	66,483,755	—	66,483,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	775,679	323,051	10,964	1,109,695	△1,109,695	—
計	33,983,422	10,928,652	22,681,376	67,593,451	△1,109,695	66,483,755
セグメント利益	1,175,993	210,631	743,531	2,130,156	97,010	2,227,167

(注)① セグメント利益の調整額97,010千円には、セグメント間取引消去99,389千円、たな卸資産の調整額△4,116千円、固定資産の調整額1,737千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。